

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

文化通心

B U N K A T S U S H I N

2024春 No.121



心に響く能の世界到来

日本の代表的な伝統文化でもある能楽は、現代では日常的に触れられる機会は少ないですが、その発展は茶の湯ともリンクしています。高松出身の能楽師・伶以野陽子さんは、近年地元でも能楽の理解と普及にご尽力されています。財団も微力ながらそうした活動を応援させていただきました。今後は高松にも本格的な能楽堂の建設が望まれるところです。

撮影者・駒井壮介さん

- 茶室竣工25周年記念 師走茶会
- 令和5年度助成事業 かがわ能楽講座
- 令和5年度助成事業 映画『スクエアダンス』公開
- 3月から5月までの茶華道情報／子供たちの茶の湯を応援しませんか？

発行：公益財団法人 中條文化振興財団
〒760-0017 高松市番町2丁目1番12号
TEL (087) 826-3355 FAX (087) 826-2212
2024年春号 No.121 3月1日発行(季刊)

師走茶会

茶室竣工二十五周年記念

席主 武者小路千家十四世家元 千宗守
令和五年 十二月三日 中條文化振興財団茶室「美藻庵」

武者小路千家の第十四世家元。不徹斎宗匠には、平成九年の四月に竣工した財団の茶室「美藻庵」の名付け親として、ご扁額いただいで以来、二十五年の長きに渡り、ずっとご指導いただきお世話になっております。

おかげさまで弊財団も、讃岐の茶の湯

の拠点のひとつとして、貸し茶室事業を核として、様々な茶の湯に在り方についてのご提案などを中心に、微力ながら活動を続けてまいりました。

これまでも、お家元の高松の稽古場として、季節ごとにお出ましただきご指導をいただいておりますが、昨年の年末には、「師走茶会」のお茶会を主催してくださることになりました。財団にとって大事な節目の時をいつも祝福していただき大変感謝しております。

振り返りますと、平成十八年には、財団の設立十周年事業として国の特別名勝・栗林公園で、各流派の皆様にご参加いただいた記念茶会を開催させていただきました。

この時も不徹斎宗匠は、大茶屋「掬月亭」での茶席を梅澤信子先生(当時)にお願いして下さり、お家元ご自身は、千利休と讃岐高松藩にご縁のある「木守」茶碗について、記念講演をして下さいました。また、それに合わせて、官休庵から楽歴代の「木守」写しの数々も展覧して下さい、とても感激した事を昨日のこのように覚えています。

お家元の「美藻庵」に於ける公開のお

茶席としては、平成二十九年の「初釜」が二回目となりました。この時はお家元と職分家の皆様の皆様のお茶席ですが、奇しくも財団の茶室竣工二十周年の節目でもありました。

そして、コロナ禍の開けた令和五年の年末の「師走茶会」はお家元三度目のお茶席となりました。「美藻庵」の席披き以来二十五年振りという事で、節目節目にお家元の優しいお心遣いをいただき感謝に堪えません。

お茶会本番は、いつものお稽古とは違って、茶会全体にお家元のご配慮が隅々まで行き渡って、凜とした雰囲気になりました。それでいて、お客様にとっては本当に楽しいお茶会でしたので、他流のお客様にも大変喜んでいただきました。

今回も讃岐に因んで、前回よりも多くの「木守」をご持参いただきました。楽歴代の写しに加え、歴代家元の手造りのお茶碗もあつて、とても珍しく、興味深く拝見することができました。

当日の「美藻庵」は濃茶席は、柔らかな自然光の中で、お家元がこの点前座に座られるのは、いつもとは違う風景でした。心なしかお家元はいつもよりリラックスされて、ご自身も楽しんでお点前されていたように感じました。

さて、「晴松亭」立礼席の薄茶席は、高島守徹先生と翠心会の皆様が京都からもおいでいただき華やかなお席となりました。立礼席は、「木守」茶碗の展観席で、



高島先生が丁寧に説明して下さいました。

点心席は、広間にテーブルと椅子を出しての立礼席といたしました。これもお家元のご指示で、料理も師走に相応しく「蕎麦懐石」を用意いたしました。料理はお家元直門の山本守蝸さん(料亭二蝶)にお願いしたので、試食や打ち合わせも細かくご指示されていきました。

令和五年の年の瀬は、財団にとっても大切な時でしたので、この機会にお家元にお茶席をお願いする事が出来たのは不思議な巡り合わせで、本当に有難いことでした。そして、普段のお稽古の時とは違い、茶会本番のご高配の一部始終を拝見して改めて大事な事を教えていただいたと感謝いたしました。



中條文化振興財団 師走茶会 会記

時、令和五年二月三日

於、美藻庵

主、武者小路千家

不徹斎 千宗守

流祖似休斎一翁宗守居士三五〇年忌を控えて

寄付

床

香合

炭斗

羽箒

火箸

環

釜敷

灰器

灰匙

一翁画像 文叔賛

赤 兜巾形 真伯在判

一翁好 竹皮本歌 文叔在判 真伯箱

直斎好 犬鷲朱鞭 愈好斎箱

真伯好 桑柄 一指斎箱

一目逆環 愈好斎箱

一指斎好 讃岐円座 同箱

焼貫ノンカウ形

赤

左入造

一閑造

一閑造

浄益造

了入造

了入造

濃茶席

床

花入

釜

縁

水指

茶入

茶碗

別二

茶杓

蓋置

建水

御茶

菓子

器

利休消息 少庵代筆 木守の文 ケラ判有

利休作 尺八 在判 後陽成天皇宸筆 銘 八千代

加茂本阿弥 はしばみ

一翁好 算木 愈好斎箱

丸ビル古材 南米産松 不徹斎在判

漢時代 緑釉祭器 三足

唐物 驢蹄口 愈好斎箱

一翁手造 赤 銘 稀人

家元・樂歴代 木守写 数々

一翁作 銘 昔男 共筒 直斎箱 一啜斎外箱

青竹 引切

木地 曲

銘 淀の昔 不徹斎好

銘 つきせぬ

不徹斎好 青漆爪紅 閑形縁高

京伏見 桃香園詰

鶴寿庵京都鶴屋製

一閑造

呈茶にて此度新作の不徹斎監修による玉藻造ノンカウ形

木守写茶碗を用フ

薄茶席

於、晴松亭

主、武者小路千家

家元教授 高畠守徹

床

花入

香合

釜

水指

棚

茶器

茶碗

替

替

茶杓

蓋置

建水

菓子

器

蓑盆

火入

煙管

香箸

愈好斎一行 萬歳

愈好斎作 一重切 銘 鶴影 在判共箱

李のもの

不徹斎箱

愈好斎好 松楓文 瓢釜十五の内 共箱 清右衛門造

不徹斎手作 芋頭 無の字彫有 共箱 玉藻補

隨縁斎好 天遊卓

愈好斎好 蒟醬 吉祥草絵 茶桶 共箱 後藤造

不徹斎喜寿手作 赤 銘 翁 共箱 玉藻補

雪松の絵

不徹斎筆 閑不徹

不徹斎古稀作 銘 寿老 共筒共箱 理平造

不徹斎喜寿好 一双の内 共箱 德泉造

官休庵伝来形 エフゴ 砂張

千代結 喜煎餅

竹 青海盆

直斎好 網代塗

染付 水鳥の絵

唐物 螺鈿細工 寸切

一指斎好 吉祥草彫

素銅 瓦釘

点心席

花柳章太郎 師走討ち入りの日の文

龜屋伊織製

正玄造

宗哲造

道八造

浄益造

金長造

以上



かがわ能楽講座

～日本の伝統芸能・能楽を楽しもう～(全6回)

令和5年度助成事業

かがわ能楽講座は、「日本の伝統芸能・能楽を楽しく深く学ぶ」をコンセプトに、能楽を構成する様々な演者や要素(シテ方、ワキ方、狂言方、囃子方、装束・能面等)にスポットを当て、レクチャーやワークショップで能楽の魅力を楽しく深く学べるプログラムとなっています。今年度は2023年10月9日(月・祝)～2024年2月25日(日)迄開催いたします。

第1回「日本の総合芸術 能楽の世界を知る」

を10月9日(月・祝)、シテ方観世流 伶以野陽子氏をお迎えし開催しました。能楽とは、能とは、能の演目、登場人物の特徴、和製ミュージカルと言われる所以、能舞台の構造等、写真や動画を用い楽しくご説明いただきました。また後半には香川ゆかりの能を五番組(「八島」「海人」「松山天狗」「当願暮頭」「多度津左衛門」)紹介いただきました。その中の能「八島」における「しころ引き」の戦いの一場面を、参加者の方と一緒に再現されました。皆様、能「八島」に惹きこまれ能楽の理解が一層深まったようでした。初心者の方にも大変わかりやすく、笑いの絶えない講座となりました。

第2回「ワキ方の魅力 謡を楽しむ」

を11月4日(土)、ワキ方下掛宝生流 安田登氏をお迎えし開催しました。能におけるワキの役割、ワキとは、「境界にいるあわい(間)の人」の姿を語られました。参加者の皆様と「高砂」や「船弁慶」を謡われ、松尾芭蕉や夏目漱石等のワキの視点で書かれた文学、世阿弥の芸能論についてもご教授いただきました。また、特別ゲストに琵琶奏者のかすみ氏も参加され、夏目漱石の『夢十夜』の舞台を再現。灯りを落とした会場は劇場と化し、迫真の語りに息を呑む素晴らしい講座となりました。

第3回「能楽の装束・能面」

を12月3日(日)、シテ方観世流 伶以野陽子氏とシテ方 観世流 小田切亮磨氏をお迎えし開催しました。能面の歴史・役割・基本型と呼ばれる種類、能装束の種類を画像や実物の能面・装束を使用してご紹介いただきました。また、参加者の方にモデルになっていただき、能装束をつける体験も実施いたしました。モデルの方は、「重くて暑いです」と苦笑いをされておりましたが、どのように能装束を着けていくのか、楽屋裏でしか見ることのできない光景に参加者の皆様は興味津々。開場時から展示した、装束や能面、かぶりもの、小道具も熱心にご覧になっていました。

第4回「能 舞を楽しむ」

を12月28日(木)、シテ方観世流 伶以野陽子氏をお迎えし開催しました。前半は参加者全員で能の基本となる構エ、摺り足、サシ、角とり、カザシ扇、足拍子を体験しました。また、能「葵上」の枕ノ段の謡を用いながら、実際にシテ方の能舞台上での動きを体験しました。後半では能「橋弁慶」の牛若丸と弁慶の戦いを能の型や謡を基に、刀を用いて全員でチャンバラ体験を行いました。参加者の皆様も童心に戻り大変楽しまれていました。

第5回「日本のクラシック音楽を楽しむ」

を1月21日(日)、笛方 笛・小鼓」を1月21日(日)、笛方



第1回



第3回



第2回

森田流 杉信太郎氏、小鼓方 幸流 曾和鼓堂氏をお迎えし開催しました。前半では杉先生が能管の構造や音階、幽玄な音の出る仕組み、流派によって装飾音が異なる等、興味深いお話をされました。笛の構えや音の出し方、覚え方、独特の拍の取り方等について教わった後、希望者が能管を体験しました。体験された方は、「ずっしり重く、音がなかなか出なかった」とお話されていました。杉先生の感動的な笛の独奏も披露していただきました。後半は曾和先生が面白おかしく、伶以野先生や能「葵上」のお話をされながら、小鼓の奏法や、緒(皮を引っ張っている紐)の調整などをレクチャー



【かがわ能楽普及の会 会長 横山馨子】

「かがわ能楽普及の会」は能楽の素晴らしさを香川の皆様にお伝えしたい、文化の一つとして定着してほしいという願いから、発足いたしました。今後も能楽を中心として、伝統芸能を次の世代に伝えていくため、地域の文化振興に貢献するため、楽しい企画をご提供し活動を行って参ります。

されました。参加者の内、2名の方が小鼓を体験されましたが、手の力を抜いて音を出すのが大変難しいようで、先生が素晴らしい調子で小鼓を打つたびに拍手が沸いていました。最後は杉先生と曽和先生の和のセッションが始まり、上質な調べを堪能できる講座となりました。

の狂言について、たっぷりとお話いただきます。参加者全員でセリフを声に出し、大笑いして狂言を楽しんでいただく予定です。

今年度は2月25日(日)にかがわ能楽講座は終了となります。

各講座終了後のアンケートにおいて、「来年も行つてほしい」、「ステップアップした講座も用意してほしい」というご要望が多数ございましたので、次年度も

かがわ能楽講座を開催する運びとなりました。

次年度、「令和6年 かがわ能楽講座」は2024年8月3日(土)より開催いたします。今年度の内容に加え、外国の方や子どもたちのための講座も開催いたします。また能楽研究者で武蔵野大学教授の三浦裕子先生をお迎えして、研究者の視点で能楽の魅力や楽しみ方、先生の研究についてお話していただく予定です。どうぞご期待ください。

【令和6年 かがわ能楽講座プログラム】

- プレイベント 8月3日(土) 外国の方のためのNoh workshop in English
- プレイベント 8月4日(日) 午前 子どもたちのための 能楽ワークショップ
- 第1回 8月4日(日) 「日本の総合芸術 能楽の世界を知る」
- 第2回 9月14日(土) 「ワキ方の魅力 謡を楽しむ」
- 第3回 11月2日(土) 「能楽研究者としての視点 能楽の楽しみ方」
- 第4回 12月8日(日) 「能 舞・謡を楽しむ」
- 第5回 2025年1月19日(日) 「狂言を楽しもう」
- 第6回 2月24日(月・祝) 「日本のクラシック音楽を楽しもう 笛・小鼓」

※第1回～第6回はレクザムホール(香川県県民ホール)小ホール棟5階「玉藻」にて、14時より開講いたします。



令和5年度
助成事業



といういろいろ資料を見せ、こんなこともあったなあと話し、出来上がった脚本は『さぬき映画祭二〇二二第六回シナリオ

や、いろんな関わり合いをもつ人からの協賛金が集まりました。また俳優さんたちも祇園座に関わる方が参加してくれ、

子どもたちのやる気のある声を聞く

今回の映画を見て、『この風景知ってるわ』『この人知ってるわ』と楽しみ、『これあかんやろ』と笑ってもらい最後には『高松市には農村歌舞伎やってる祇園座って団体があるんやで』と認知して、『なら農村歌舞伎を見てみよう！』や『面白そうだからやってみようか』と帰ってもらえればと思います。

最後になりますが、祇園座で歌舞伎やりたい！裏方ならできるよ！そんな方にご連絡いただけたら幸いです。



お月見もいいけどお花見もこれですね

ご存知ですか？

25年前にちょっとした旋風を巻き起こした『だんご3兄弟』という曲を。

串にささって だんご

3つならんで だんご

しょうゆぬられて だんご

だんご3兄弟

と、三つの団子を兄弟にみたてた楽しい歌です。

一度聞くと耳に残り、美味しそうなくし団子が食べたくくなりますよね。

団子は、穀物の粉を水や湯を加え、蒸したり茹でたりしたものを丸めて作ったものです。炭火で焼いた少し大きめの柔らかい団子にきな粉をまぶしたり、醤油やあんで味付けしたものなど、とても魅力的な和菓子です。

今年の冬は毎日暖かく、春の足音がもうすぐ聞こえてきそうです。

春になったら 花見 花見

と口づさみ、お餅屋さんのおだんごを桜を見ながら頬張ってみませんか？



お茶の風景(23)

禁句

財団の喫茶室受付で初めて来たという男性客が「茶室では何を話せばいいのでしょう」と聞いてこられました。ご亭主のもてなしに感謝しながら興味のあるお道具などお伺いすればどうでしょうと答えながら、逆に茶室では慎むべき話題として、牡丹花肖柏の「わが仏、隣の宝、婿舅、天下の軍、人の善悪」がありますと、たまたま、手帳に書き付けていた頁を開いてお見せしたことがありました。

室町時代の肖柏が連歌の席での話題の戒めを軽妙な狂歌に詠んだものですが、この時代、バサラ気取りの男たちは些細な口論を修羅場にしてはしゃぐことも多々あったと言われます。言質に警戒を促したものを、後年、山上宗二が茶会に引用して慎むべき言葉は動から静の世界に、さらに一般社会の常識になりました。

さて、春本番の暖かい日々の中に、寒の戻り、花冷えなど不順な天候が混じります、お大切にお過ごし下さい。

「ふはふはとうどん煮ゆるや戻り寒」



財団行事予定 (3月～5月)

休館日水曜日

お申込みは財団まで。急遽中止になる事もあります。

3月

- ◆ 書道教室 毎月第1・第3金曜日
森本義人先生
3月1日(金)・15日(金)午前10時～12時
- ◆ ヤングヤング(子供茶の湯教室)
毎月第2・第4土曜日 山下純子先生
3月2日(土)・9日(土)午後1時～
- ◆ 和菓子講座
毎月第2金曜日 高橋初乃先生
3月8日(金)午前10時～12時
- ◆ 茶室 de 若人茶会
3月10日(日)
処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
席主 大手前高松中学・高校茶道部
会費 一般800円・学生300円(茶席2席)
入席時間(各席12名・1時間30分を予定)
第1席 9時 第2席 10時
第3席 11時 第4席 13時
第5席 14時

- ◆ 月に一度の喫茶室 毎月第3火曜日
3月19日(火)午前10時～午後2時(受付)
自由なお時間にどうぞ。(ランチは要予約)

4月

- ◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生
4月2日(火)午前11時・午後3時
- ◆ 書道教室 森本義人先生
4月5日(金)・19日(金)午前10時～12時
- ◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
4月12日(金)午前10時～12時
- ◆ ヤングヤング 山下純子先生
4月13日(土)・27日(土)午後1時～
- ◆ 月に一度の喫茶室
4月16日(火)午前10時～午後2時(受付)
自由なお時間にどうぞ。(ランチは要予約)
- ◆ 茶室 de 若人茶会
4月28日(日)
処 晴松亭(当財団茶室)
席主 高松商業高校茶道部
会費 一般700円・学生300円
入席時間(各席15名)
第1席 9時 第2席 10時
第3席 11時 第4席 12時30分
第5席 13時30分 第6席 14時30分

5月

- ◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
5月10日(金)午前10時～12時
- ◆ ヤングヤング 山下純子先生
5月11日(土)・25日(土)午後1時～
- ◆ 書道教室 森本義人先生
5月17日(金)・31日(金)午前10時～12時
- ◆ 月に一度の喫茶室
5月21日(火)午前10時～午後2時(受付)
自由なお時間にどうぞ。(ランチは要予約)
- ◆ 5月月釜 五人様茶会
「お薄席と初夏の香組で爽やかな季節の訪れをお楽しみください」と席主のメッセージを添えてご案内いたします。
日時 5月26日(日)
処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
薄茶 武者小路千家 佐藤守春
香 御家流香道香雲会 野田法子
会費 6,000円(薄茶・香・点心席)
入席時間(各席6名・2時間15分を予定)
第1席 9時 第2席 10時30分
第3席 11時15分 第4席 12時45分
第5席 14時15分 (各席A席・B席)
申込 電話受付 4月15日(月)10時～

子供たちの茶の湯を応援しませんか？

財団では、かねてより開催しておりました「若人茶会」の代わりに、財団の茶室を無料開放する事を、去年から始めています。子供たちの考える力や行動力は、想像以上に頼もしくて素晴らしいというのを、若人茶会の経験で知りました。そうした子供たちの茶の湯の交流を応援したいと考えています。

- 対象は、高校生の茶道部のほか、小学生の茶道クラブ。中学や大学の茶道部も対象と考えています。
- 目的は、茶道を志す子供たちとの交流茶会。本格的な茶室を使って、子供たちが自分たちで考えるお茶会の実現を応援します。
- 日時は、それぞれのご希望の日時で開催できます。例えば土日の予定なら、土曜日は茶室の掃除、茶会の準備とお稽古。日曜日はお客様を迎えてお茶会。片付けと撤収まで。
- 費用は、お茶室は無料開放します。更に公開のお茶会をされる場合には3万円を助成します。それで茶筌や茶巾などを準備してください。
- お茶会開催の場合は、お菓子やお抹茶は、ご希望のものを支給します。茶会当日のお弁当もお任せください。
- お茶会のお客様は、先ずお友達やご家族の予約を優先します。その後、席が空いていたら、財団の方でも一般のお客様を募集します。
- お茶の先生方にお願ひがあります。この事をお知り合いの学校の先生や、茶道部を指導されている先生にお伝えください。もちろん流派は問いません。是非ご協力をお願いいたします。
- 詳しくは、財団の事務局までご連絡下さい。ご希望の場合は、先ずは日程の調整から。お茶会のやり方については、それぞれのご希望を伺いながら一緒に考えたいと思います。
- 先ずはご一報をお待ちしております。生徒さんからでも、先生からでも構いません。頑張りましょう。



「声・情報お寄せください」
〒760-0017
高松市番町二丁目一十二
公益財団法人 中條文化振興財団編集部
TEL (087) 826-1335
FAX (087) 826-1221
info@chujo-zaidan.or.jp

年が明け正月飾りを片付け節分の準備をする。翌日、立春を迎えるといふ祭りのことを考える。気ぜわしいけれども、その時々花を生けお茶をいただく。情緒があつていいものです。

季節の変わり目がはつきりしなくなっている昨今ですが、日本には時期に適った伝統行事やお祭りが多くあります。これらに参加したり、また、見聞などを通して四季を感じ、楽しむことができるのではないのでしょうか。

歳事の大小はあつても、古来より受け継がれてきた日々の暮らしに根付いた伝統文化として大切にしていきたいに、当財団も継承のお役に立ちたいとねがっています。

茶華道ガイド

急遽中止等の変更となる場合があります。

茶道裏千家淡交会高松支部 TEL (087) 841-0605

〈淡交会高松支部月釜〉 入席時間指定

大西・アオイ記念館 800円 9:30~15:00

4/7 席主：富家宗育

6/2 席主：北村宗純

石州流讃岐清水派石州会 TEL 090-2826-9229

4/14 創立87周年記念茶会 第1席席主：宮脇宗廣、
第2席席主：里野宗絹、嶋崎宗代、和田宗邦

玉藻公園披雲閣 2,000円 9:00~15:00

煎茶道三癸亭賣茶流高松仙友会 TEL (087) 898-3655

5/26 三癸亭賣茶流高松仙友会 煎茶会

第1席席主：金澤志保 第2席席主：池内明子

玉藻城披雲閣 2,000円 9:00~14:00 (受付終了)

武者小路千家香川官休会 TEL (087) 862-8574

〈香川官休会月釜〉 無量寿院 1,000円 9:00~15:00

3/3 席主：竹井守恵

5/5 席主：香川官休会 男子組

東讃茶道懇話会 TEL (087) 898-0391

3/24 月釜 席主：石州流讃岐清水派石州会 三琇会

池戸西徳寺 800円 9:00~15:30

大西・アオイ記念財団 TEL (087) 880-7888

3/3 大西・アオイ花茶会

席主：田井宗隆 (裏千家淡交会高松支部)

大西・アオイ記念館 800円 9:00~

〈大西・アオイ高校茶会〉

大西・アオイ記念館 400円 10:00~

3/23 席主：高松桜井高校茶華道部

3/31 席主：三木高校茶華道部

高松市香南歴史民俗郷土館 TEL (087) 879-0717

〈由佐城月釜茶会〉 前売600円／4月から前売700円・当日800円

第2研修室 (和室) 9:30~ (全6席) 入席時刻指定

3/17 席主：落合宗仁 (茶道石州流宗家高松会)

4/21 席主：田中宗瑞 (裏千家 高畑宗稔社中)

5/19 席主：片山宗美 (石州流讃岐清水派石州会)

編集後記